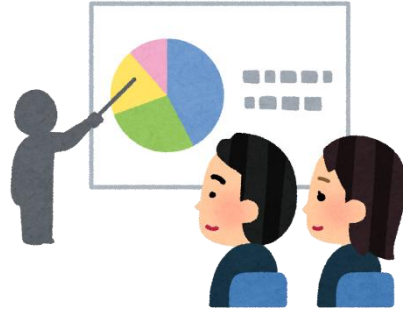


授業実践1の様子		授業実践2の様子	授業実践3の様子
Aさん	・パフォーマンス課題とルーブリック評価を提示される場面では、教師の提示した内容をよく聞き、単元の終末にどのような作品を作り上げればよいか考えてから、学習計画を立てていた。 ・これまでの既習事項から、これから学ぶことに対して予想しながら授業を受ける姿が見られた。 ・話し合い活動では、他の友人たちと自分の意見を比較し、「なぜそう考えたのか」問いかける場面があった。やり取りの際には、教科書を改めて確認し、情報が間違っていないか確認する姿が見られた。 	・実際のパフォーマンス課題に対し、1～4時間目までに学んできたことをどのように生かせばよいか思案する様子があった。 ・パフォーマンス課題で指示されていることと、ルーブリック評価の記述から、スライドにまとめる流れを考えていた。 ・友人たちのスライドを参照しながら、自分に何が足りていないのか考える姿が見られた。 ・教師に「この内容で妥当か」どうかを聞き、自信をもって取り組む姿が見られた。 	・パフォーマンス課題やルーブリック評価を基に、自分の作品を改めて見直す姿が見られた。特に、ルーブリック評価の記述は、評価に直結することだと理解し、取り組むことができていた様子であった。 ・他者との交流から、スライドに情報を追加する姿があった。また、図や写真なども取り入れ、説明に必要な条件を見直す場面もあった。 
	・与えられた課題に前向きに取り組むことができる。 ・話し合いでは中心となって話を進め、多角的に物事を見ることができる。 ・気になったことは積極的に調べ、自分に必要な情報を整理している。	子どもに関する変容① ・「学びのサイクル」を積み重ねることで、自分から次に何を調べればよいか、予想を立てながら活動に取り組む姿が見られるようになった。 ・振り返り際には、次に何をしなければならないのか、何が必要なのか考えて記入する姿が見られるようになった。	子どもに関する変容② ・単元全体を通して、パフォーマンス課題とルーブリック評価を意識して活動するようになった。 ・「どのような力が必要か」という資質・能力に関する振り返りができるようになった。 ・自ら「学びのサイクル」を回し、自立した学習をするようになった。
Bさん	・パフォーマンス課題やルーブリック評価を提示された際には、最終的にどのような内容をスライドにまとめればよいか友人に確認する姿が見られた。 ・教科書内容から、どのようなことをノートにまとめればよいのか手間取ることも多く、教師が全体の確認をするまで書くことができない場面もあった。 ・話し合いでは聞き手に回り、より情報を集めようとメモを取る姿が見られた。 	・これまで学んできた情報を整理することで1時間が終わってしまった。 ・友人たちのスライドを共有フォルダーから参照して眺めている様子が長くあった。 ・学習計画では、スライドの3枚目までの内容をまとめる意欲を見せていたが、実際には1枚目の目次のみで終わってしまった。 ・「学びのサイクル」を積み重ねることにより、その時間に何をしなければならないかは理解しているが、学んだことを形にできず悩む姿があった。 	・終末までにすべてのスライドを完成することができなかったが、友人たちとの交流を通して、取り組むことはできた。 ・ルーブリック評価の内容を踏まえているようだったが、ところどころ課題の条件に合っていない部分が見受けられた。 ・「単元デザイン」において、パフォーマンス評価を実施することで、どのような作品が求められているかを考えながら取り組むことはできていたが、それを形にする際には教師の力が必要だった。 
	・課題の理解に時間が掛かっていた。 ・ルーブリック評価の記述から、どのような作品を作り上げればよいか戸惑う姿が見られた。 ・板書をノートに写すことや、教科書から必要な情報を抜き取ることに、やや時間が掛かる様子が見られた。	子どもに関する変容① ・「学びのサイクル」を積み重ねることで、毎時間の授業で何をやる必要があるか意識しながら授業に取り組めるようになった。 ・教師の支援により、他者参照を開始したことで、スライドの内容にイメージをもって臨めるようになった。	子どもに関する変容② ・単元全体の「学びのサイクル」を振り返り、自分自身に足りない力を自覚し、次の単元につなげる振り返り欄に書くことができるようになった。 ・「学びのサイクル」を積み重ねることで、自分が次に何をしなければならないのかという、内発的動機付けにつながり、終末では自分から積極的に友人たちと交流する姿が見られるようになった。